

令和元年度 仙台総合ペット専門学校

【自己評価報告書】

令和2年4月30日



よりそうチカラを、キミに。

仙台総合ペット専門学校



## 《目 次》

項 目	ページ
1. 学校の教育目標	1
2. 本年度の重点目標と取組	1
3. 令和元年度 項目別自己評価	
(1) . 教育理念・目標	2
(2) . 学校運営	3
(3) . 教育活動	4
(4) . 学修成果	5
(5) . 学生支援	6
(6) . 教育環境	7
(7) . 学生の受け入れ募集	7
(8) . 財務	8
(9) . 法令等の遵守	9
(10) . 社会貢献・地域貢献	10
(11) . 国際交流	10

## 1. 教育目標

動物と人間のより良い共生社会の実現を目指し、動物に携わる職業の選択を可能とする専門知識や技術の修得を第一目標とします。また、少子高齢化、経済のグローバル化、社会や技術の進化の加速化という世界に共通する大きな社会変動の中でも、個人がその能力を発揮し、輝きを失うことなく意欲的に生きて行けるエンプロイアビリティ、ポータブルスキルとしての人間力（基礎学力・社会人基礎力・人間性）を身に付けることを目標とします。

## 2. 本年度の重点目標と取組

職業実践専門課程設置校として各委員会をとおり教育課程の充実を図るとともに即戦力となる職業人の育成に繋げるため企業と連携し授業の充実を図る。また、学生本人が納得できる就職指導を実践し、自ら考え行動できる就職への導き、さらにはペット業界で末永く活躍できる人材の育成と各科就職率100%を目指す。

### 3. 令和元年度 項目別自己評価

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	④ 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
学校の理念、目的、人材育成像、特色、将来構想などが学生保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各科の教育目標、人材育成像は、科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

#### ① 取組と課題

継続して学校が定める教育目標・育成人材像に加え、専門的な知識・技術・技能をより高めるための重点目標を各科で設定し、それらを達成するための計画的な指導に取組んだ。

日々変化し続ける社会のニーズに適った人材を輩出するためにも業界の将来を見据えた教育活動の展開をしていくことが今後も課題であり、そのためにも既存の企業・業界団体との連携強化はもちろん、新たな企業との連携を行う必要がある。

学校生活・就職活動のサポートとして、学校側からの情報提供にとどまらず学校と保護者の連携を強化していくことを課題としている。

#### ② 今後の改善方策

昨年度に引き続き「保護者向け就職セミナー」を実施し、ペット業界の就職に関する状況や流れについての説明をおこなうことで、学生の就職活動への理解と学校と保護者との協力体制を築き、就職指導の充実を図る。

#### ③ 特記事項

各科が目標としている学習目標、目指す人材育成像についてはオープンキャンパスのなかでレジュメを用いて説明をおこなっている。また、教室・実習室に掲示をすることで日常的に目標の確認ができるようにしている。

## (2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4 ③ 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
教育活動に対する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

### ① 取組と課題

運営組織や意志決定機能は学園規程において明確にされ有効に機能しており、それぞれの職域のなかで業務に臨めるよう整備されている教育活動に対する情報公開として「クラス平均出席率」「クラス年間在籍率」「資格・検定試験受験者数及び合格率」「就職決定率」をホームページの学校情報に掲載している。学校ホームページへのアクセス数を伸ばすため、SNSでの継続的な情報発信を行う必要がある。

### ② 今後の改善方策

SNSでの発信は継続的に行っているがTwitterへの偏りがみられる。引き続き、他の情報発信ツールでの情報発信に努めていく。

### (3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
関連分野の企業関連施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1
職員の能力開発のための研修が行われているか	4	3	②	1

#### ① 取組と課題

継続して行っているペットショップや動物病院での現場実習は将来のイメージを持たせる上で良い効果を与えている。しかし、**教員の研修の参加機会が少なくなっている**為、今後の改善が必要になる。

#### ② 今後の改善方策

外部企業主催のセミナーの回数を増やしてだけでなくイベントへの参加など現場の状況を常に勉強できる機会を学生・教員共に増やしていく。また、積極的に外部イベントの会場として使用してもらい、教員・在校生だけでなく、卒業生も参加しやすい環境を整える必要がある。

#### (4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

#### ① 取組と課題

学校全体の就職・資格・徐退率について以下の表にまとめた。

	令和元年度	平成30年度	増減
就職決定率	93.4%	91.6%	+1.8%
動物業界就職率	88.9%	98.0%	-9.1%
資格取得率	92.2%	89.0%	+3.2%
除退学率	8.1%	4.9%	+3.2%

継続的に学生サポートを行っている為、全体的な数字は良い結果となっている。しかし、前年度に比べ「動物業界就職率」の低下、「除退学率」の増加がみられる。「動物業界就職率」の原因としては経済状況の改善の兆しが見えず、動物業界の雇用条件に学生だけでなく家庭も不安を感じることが多くなった。「除退学率」についてはメンタル面での問題も依然としてあるが、経済的困難から除退学となる学生も多くみられる為、国や県、学園の金銭的なサポートについてもさらなる周知が必要となる。

#### ② 今後の改善方策

雇用条件だけでなく卒業生の離職率・評価なども在校生には伝え、学生が企業を選びやすい環境を整えていく。また、積極的に企業訪問し企業側へ雇用条件の改善についても要望を出す必要がある。

メンタル面での問題を抱えている学生に対しては普段からの声掛け、学校カウンセラーとの相談だけでなく保護者との連携強化もさらに進めていく。

#### ③ 特記事項

就職活動時の注意事項や過去のトラブルなど校内でまとめ、全教員が確認できるように体制を整えている。



## (5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
進路就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

### ① 取組と課題

国や県の修学支援制度や学園独自の修学支援など金銭面でのサポート体制を整えている。しかし、知らない学生も多くいる為、教員から学生だけでなく保護者への周知も課題となっている。また、本校を外部企業が開催するイベントの会場として使用してもらい、在校生だけでなく卒業生への優遇措置も行っているが、さらなる卒業生への継続的な支援体制の強化も課題となっている。

### ② 今後の改善方策

オープンキャンパスなどでの参加者や親御様へ国や県、学園で行っている修学支援について説明を行い、金銭面での不安を少しでも軽減していく。

卒業生へも各イベントの連絡だけでなく積極的に企業に訪問し現場での様子を確認している。

### ③ 特記事項

企業訪問データをまとめ、全教員が確認できる体制を整えている。

## (6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

### ① 取組と課題

避難訓練は継続的に行っている。しかし、校舎・設備の劣化がみられ改修の必要性がある。  
また、校内で使用している「防災マニュアル」も毎年、改善・修正を行っている。

### ② 今後の改善方策

複数回の避難訓練の実施や校舎・設備の改修、入れ替えを行う。

## (7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

### ① 取組と課題

引き続きガイダンスや説明会に出向いた職員が担当科に限らず、全ての科について特色や強みを同じように説明できるようし、オープンキャンパス参加時にも温度差を感じることなく希望科の説明を受けることができたと思われる。

また、高校以外にも福祉施設や外部イベントへ積極的に参加してきた。

### ② 今後の改善方策

依然として少子化の問題は残っており、様々な場所に赴き、さらなる対象拡大の必要がある。

## (8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適当に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

### ① 取組と課題

財務に関しては経理規程にもとづいて会計監査をはじめ、適切に運用されている。経理業務を正確、かつ迅速に処理し、財務及び経営状況を明らかにして経営の能率的な運営と充実を図っている。

### ② 今後の改善方策

特になし。

### ③ 特記事項

財務情報公開をホームページで行っている。

### (9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

#### ① 取組と課題

法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がされている。

#### ② 今後の改善方策

年度当初に職業実践専門課程に関する年間スケジュールを立て、自己評価の早期着手及び改善に向けた取組を実施していく。

#### ③ 特記事項

自己評価結果公開をホームページで行っている。

### (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

#### ① 取組と課題

校舎周辺の清掃や盲導犬・保護センターでのボランティアなど継続して取り組んでいる。今後は福祉施設や小学校での地域貢献活動も増やしていく必要がある。

#### ② 今後の改善方策

継続してボランティア活動などの社会貢献・地域貢献を行っていく。

### (11) 国際交流（必要に応じて）

特になし